



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月1日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東
 コード番号 4952 URL http://www.sdsbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 順一 TEL 03-5825-5511
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日 配当支払開始予定日 平成24年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,627	△4.1	121	△27.1	102	△15.2	53	△26.1
23年12月期第2四半期	4,826	3.3	166	△54.2	120	△61.0	72	△64.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	6.88	6.87
23年12月期第2四半期	9.31	9.30

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第2四半期	11,048	3,736	33.8	478.15
23年12月期	12,093	3,760	31.1	481.26

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 3,736百万円 23年12月期 3,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年12月期	—	10.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△6.1	910	7.5	840	13.2	500	4.2	63.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	7,813,900株	23年12月期	7,813,900株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	75株	23年12月期	75株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	7,813,825株	23年12月期2Q	7,806,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）におけるわが国経済は、依然として厳しい状況の中、個人消費や設備投資などの国内需要は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州債務危機等による海外景気の下振れ、円高の長期化、原油価格や原材料価格の上昇、更には国内の電力供給不足による不安や雇用情勢の厳しさなど、景気の先行は依然として不透明な状況で推移しております。

国内農業におきましては、政府が「戸別所得補償制度」などの食料自給率向上に向けた政策を行っておりますが、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加、更には東日本大震災に関連した被害等により厳しい状態が継続しております。

このような状況下、当社は主力品目である殺菌剤及び水稲除草剤の販売強化に取り組んでおりますが、国内においては昨年実績を若干上回ったものの、海外における売上高の減少が影響し、全体として昨年実績を下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は46億27百万円（前年同期比1億99百万円減、4.1%減）、営業利益は1億21百万円（前年同期比45百万円減、27.1%減）、経常利益は1億2百万円（前年同期比18百万円減、15.2%減）、四半期純利益は53百万円（前年同期比18百万円減、26.1%減）となりました。

なお、当社の販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第1四半期会計期間（1月1日から3月31日まで）及び第4四半期会計期間（10月1日から12月31日まで）に売上高が集中する傾向にあり、特に第4四半期会計期間はこの傾向が顕著となります。

当社は農業事業セグメントのみの単一セグメントであります。事業の傾向を示すために品目別業績を記します。

(殺菌剤)

当第2四半期累計期間における売上高は18億78百万円（前年同期比1億44百万円減、7.1%減）となりました。

これは、主に海外向けダコニール関連製品（原体及び製剤）の売上高が、ジェネリック品との価格競合の激化により減少したことによるものです。一方、国内向けの出荷は堅調に推移しました。

(水稲除草剤)

当第2四半期累計期間における売上高は15億67百万円（前年同期比46百万円増、3.1%増）となりました。これは、主に国内向けベンゾピシクロン関連製品及びカフェンストール原体の出荷が増加したことによるものです。

(緑化関連剤)

当第2四半期累計期間における売上高は8億3百万円（前年同期比1億28百万円減、13.8%減）となりました。これは、主に国内の葉タバコ作付面積の減少に伴い、同作物向けの植物成長調整剤の出荷が減少したことによるものです。

(殺虫剤)

当第2四半期累計期間における売上高は2億78百万円（前年同期比21百万円増、8.5%増）となりました。これは、主にセンチウ防除剤の出荷増加によるものです。

(その他)

当第2四半期累計期間における売上高は99百万円（前年同期比4百万円増、5.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末（平成24年6月30日）における総資産は110億48百万円であり、前事業年度末（平成23年12月31日）と比べて10億44百万円減少しました。

流動資産は77億15百万円であり、前事業年度末比8億78百万円の減少となりました。主な内訳は、売掛金9億97百万円、未収入金3億27百万円の減少と、たな卸資産3億15百万円の増加です。

固定資産は33億33百万円であり、前事業年度末比1億65百万円の減少となりました。主な内訳は、有形固定資産の減価償却費1億4百万円、無形固定資産の減価償却費48百万円、長期前払費用償却額40百万円の計上です。

流動負債は43億13百万円であり、前事業年度末比8億66百万円の減少となりました。主な内訳は、買掛金2億53百万円、短期借入金1億41百万円、1年内長期借入金3億38百万円、未払法人税1億51百万円の減少です。

固定負債は29億99百万円であり、前事業年度末比1億54百万円の減少となりました。主な内訳は、長期借入金99百万円の減少です。

純資産は37億36百万円であり、前事業年度末比24百万円の減少となりました。主な内訳は、前事業年度の剰余金の配当78百万円の減少と、四半期純利益53百万円の増加です。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、仕入債務の支払、短期借入金の返済、長期借入金の返済による減少がありましたが、売上債権の収入により、8億21百万円（前事業年度末比61百万円増加）となりました。主な要因は、以下の通りとなります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8億5百万円となりました。前年同四半期に比べて6億59百万円得られた資金が減少しております。主な内訳は、たな卸資産の増加3億15百万円（前年同四半期は90百万円の減少）、仕入債務の減少1億91百万円（前年同四半期は9億47百万円の減少）と、売上債権の減少13億18百万円（前年同四半期は23億61百万円の減少）です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は83百万円となりました。前年同四半期に比べて35百万円支出した資金が減少しております。主な内訳は、有形固定資産及びソフトウェアの取得による支出です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は6億56百万円となりました。前年同四半期に比べ5億88百万円使用した資金が減少しております。主な内訳は、長期借入金による資金調達5億円（前年同四半期は14億円）、短期借入金の減少1億41百万円（前年同四半期は18億18百万円）と、長期借入金の返済9億37百万円（前年同四半期は7億55百万円）です。

（3）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年12月期決算発表時（平成24年2月1日）に公表した通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,060	821,349
受取手形	2,227	8,454
売掛金	3,504,545	2,507,392
商品及び製品	3,186,310	3,665,427
仕掛品	7,846	15,994
原材料及び貯蔵品	421,084	249,153
前払費用	120,549	176,331
繰延税金資産	134,298	134,298
未収入金	444,232	116,690
その他	12,884	20,102
流動資産合計	8,594,040	7,715,194
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	968,150	941,154
構築物（純額）	101,432	94,503
機械及び装置（純額）	247,946	191,682
車両運搬具（純額）	5,099	4,548
工具、器具及び備品（純額）	84,537	65,860
土地	891,545	891,545
有形固定資産合計	2,298,711	2,189,294
無形固定資産		
特許権	61,770	51,458
ソフトウェア	200,919	191,866
その他	6,446	4,051
無形固定資産合計	269,136	247,375
投資その他の資産		
投資有価証券	7,320	7,456
関係会社株式	80,000	80,000
長期前払費用	529,525	495,344
繰延税金資産	249,974	249,974
その他	99,761	99,030
貸倒引当金	△34,838	△34,838
投資その他の資産合計	931,743	896,967
固定資産合計	3,499,591	3,333,638
資産合計	12,093,632	11,048,832

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,086,985	833,065
短期借入金	1,424,703	1,282,864
1年内返済予定の長期借入金	1,444,000	1,106,000
未払金	544,707	560,917
未払費用	424,770	413,169
未払法人税等	192,063	40,875
賞与引当金	37,149	35,120
預り金	16,367	39,741
その他	8,531	1,338
流動負債合計	5,179,279	4,313,093
固定負債		
長期借入金	2,473,000	2,374,000
退職給付引当金	618,759	562,692
資産除去債務	8,920	8,920
その他	53,154	53,915
固定負債合計	3,153,834	2,999,528
負債合計	8,333,114	7,312,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,845	805,845
資本剰余金	73,029	73,029
利益剰余金	2,881,492	2,857,081
自己株式	△46	△46
株主資本合計	3,760,321	3,735,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	196	301
評価・換算差額等合計	196	301
純資産合計	3,760,518	3,736,211
負債純資産合計	12,093,632	11,048,832

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,826,548	4,627,405
売上原価	3,255,516	3,127,893
売上総利益	1,571,031	1,499,511
販売費及び一般管理費	1,404,145	1,377,914
営業利益	166,886	121,597
営業外収益		
受取利息	226	206
受取配当金	12,330	16,198
その他	0	372
営業外収益合計	12,556	16,777
営業外費用		
支払利息	43,076	35,268
為替差損	7,281	494
その他	8,098	13
営業外費用合計	58,455	35,775
経常利益	120,986	102,598
特別損失		
固定資産除却損	712	17,976
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,495	—
特別損失合計	9,207	17,976
税引前四半期純利益	111,779	84,622
法人税等	39,122	30,895
四半期純利益	72,656	53,726

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	111,779	84,622
減価償却費	162,630	153,211
長期前払費用償却額	90,000	40,344
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△846	△2,028
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△52,729	△56,066
受取利息及び受取配当金	△12,556	△16,404
支払利息	43,076	35,268
為替差損益 (△は益)	△2,947	3,687
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,495	—
固定資産除却損	712	17,976
売上債権の増減額 (△は増加)	2,361,513	1,318,503
たな卸資産の増減額 (△は増加)	90,174	△315,334
仕入債務の増減額 (△は減少)	△947,093	△191,247
未払費用の増減額 (△は減少)	△121,071	△10,281
預り金の増減額 (△は減少)	△2,117	23,373
その他の資産の増減額 (△は増加)	△104,422	△70,700
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,113	△6,435
小計	1,621,485	1,008,488
利息及び配当金の受取額	12,486	16,341
利息の支払額	△45,038	△37,743
法人税等の還付額	1,508	—
法人税等の支払額	△126,119	△181,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,464,322	805,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,359	△64,360
無形固定資産の取得による支出	△44,430	△19,120
その他	—	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,790	△83,335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,818,014	△141,838
長期借入れによる収入	1,400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△755,000	△937,000
自己株式の取得による支出	△24	—
配当金の支払額	△72,150	△78,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,245,188	△656,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,947	△3,687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103,290	61,288
現金及び現金同等物の期首残高	659,096	760,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,387	821,349

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年6月30日）及び当第2四半期累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

当社は、農業事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。